

市長メッセージ

「原水爆禁止 2014 年世界大会」が開催されるに当たり、メッセージをお送りいたします。

1945 年 8 月 6 日、広島に投下された一発の原子爆弾は、無差別に罪もない多くの市民の命を奪い、また、かろうじて生き残った人々の人生をも一変させ、終生にわたり心身を苛み続けています。原爆は、非人道兵器の極みであり「絶対悪」です。

被爆者は、辛く厳しい境遇を生き抜き、核兵器の非人道性と平和への思いを訴え続けてきました。そして、その思いを世界の人々が共有し、進むべき道を正しく選択するよう願っています。

私たちは苦しみや悲しみを乗り越えてきた多くの被爆者の願いに応え、核兵器廃絶に取り組むための原動力とならねばなりません。そのために、広島市は、平和首長会議を構成する 6,100 を超える加盟都市とともに、国連や志を同じくする NGO などと連携して、2020 年までの核兵器廃絶をめざし、核兵器禁止条約の早期実現に取り組んでいます。

命あるうちに核兵器廃絶を見届けたいと心から願う被爆者の平均年齢は 79 歳を超えました。一日も早く核兵器のない世界が実現するように、国内外の多くの人々に被爆者の体験や平和への思いを共有していただき、我々と共に核兵器廃絶に向けて取り組んでいただきたいと思います。

そうした意味で、皆様が今年も「原水爆禁止 2014 年世界大会」を開催され、平和への願いを訴えてくださることは誠に意義深く、その取組に対し深く敬意を表します。

是非とも皆様には、今後とも、被爆者の願いに応え、「絶対悪」である核兵器の廃絶と世界恒久平和の実現に向け、共に力を尽くし行動してくださることを心から期待しています。

終わりに、皆様の今後ますますの御健勝と御多幸をお祈りいたします。

平成 26 年(2014 年) 8 月

広島市長 松井 一 實